

＝6年生を送る会 子どもたちの成長が感じられました。＝

寒い日でしたが、心はぼかぼか温かくなるととても楽しい会でした。2月24日金曜の「6年生を送る会」は、大海小全校がもうすぐ巣立っていく6年生に感謝の気持ちを伝えるすばらしい会になりました。保護者地域の皆様にもたくさん参観いただきありがとうございました。

1～5年生はこの日に向けて、出し物の準備や練習にととてもよく頑張りました。特に5年生は、現6年生が卒業後最上級生として学校を背負っていこうという意気込みが感じられました。すべての学年の出し物が豊かな表現力に支えられたすばらしい発表でした。どの子も大きな声で台詞やメッセージを伝えていました。けっしてさせられているのでは無く、相手意識をしっかりと持ち、動作や言葉で見ている人に気持ちを伝えている姿がすばらしいと思いました。これは、日頃教室での毎時間の授業の中で培われた姿だと思います。大海っ子一人ひとりが今年1年でたくさん成長したことを確信することができました。大きな声で発表する、話し手に向かってしっかりと対面して話す態度、長い台詞もきちんと覚えて間の取り方も良かったです。だから見ている子どももしっかりした態度で反応しながら参加することができていました。そして何よりも相手に気持ちを伝えるコミュニケーション力が高まっていると感じました。

圧巻は、6年生の出し物発表でした。内容の企画から台詞や準備まで先生の手を借りず自分たちで行いました。だからあんなに伸び伸びとダイナミックに、そして自らが楽しみながら演技することができたのですね。ここに大海小学校として子どもたちに付けたいと願っている「主体性」を卒業する6年生が思う存分発揮し、とてもうれしくなりました。

下級生も今年度の成長を足場に、さらに高みをめざし小学校6年間で主体的な行動ができるようになってほしいと感じました。

すてきな送る会でした。どの学年も6年生に感謝の気持ちを表すことができました。次は卒業式、すばらしい成長を遂げたこの6年生が立派な姿で巣立っていくのが楽しみです。



＝たくさんの方に支援していただき地域と共に前進できた大海小学校、

コミュニティスクールの取り組みを今後とも続けます。＝

地域から信頼される、地域と共にある学校づくりをめざし、今年もいろいろな取り組みを続けてきました。その一端が一昨日の北國新聞で大きく取り上げられました。家庭や地域と連携しながら、子どもたちに社会とのかかわりを豊かにしていく力を身に付けさせ、よりよいコミュニティの構築に貢献できる力を育成していかなければなりません。今回取り上げられた味噌づくり、学校林の活用等コミュニティスクールの取り組みがその一歩になればと考えています。

たくさんの人に支えられていること、将来も周りのいろいろな人に助けられて生きていく。子どもたちを、そういう感謝の心を忘れない、心豊かな人間に育成していきます。